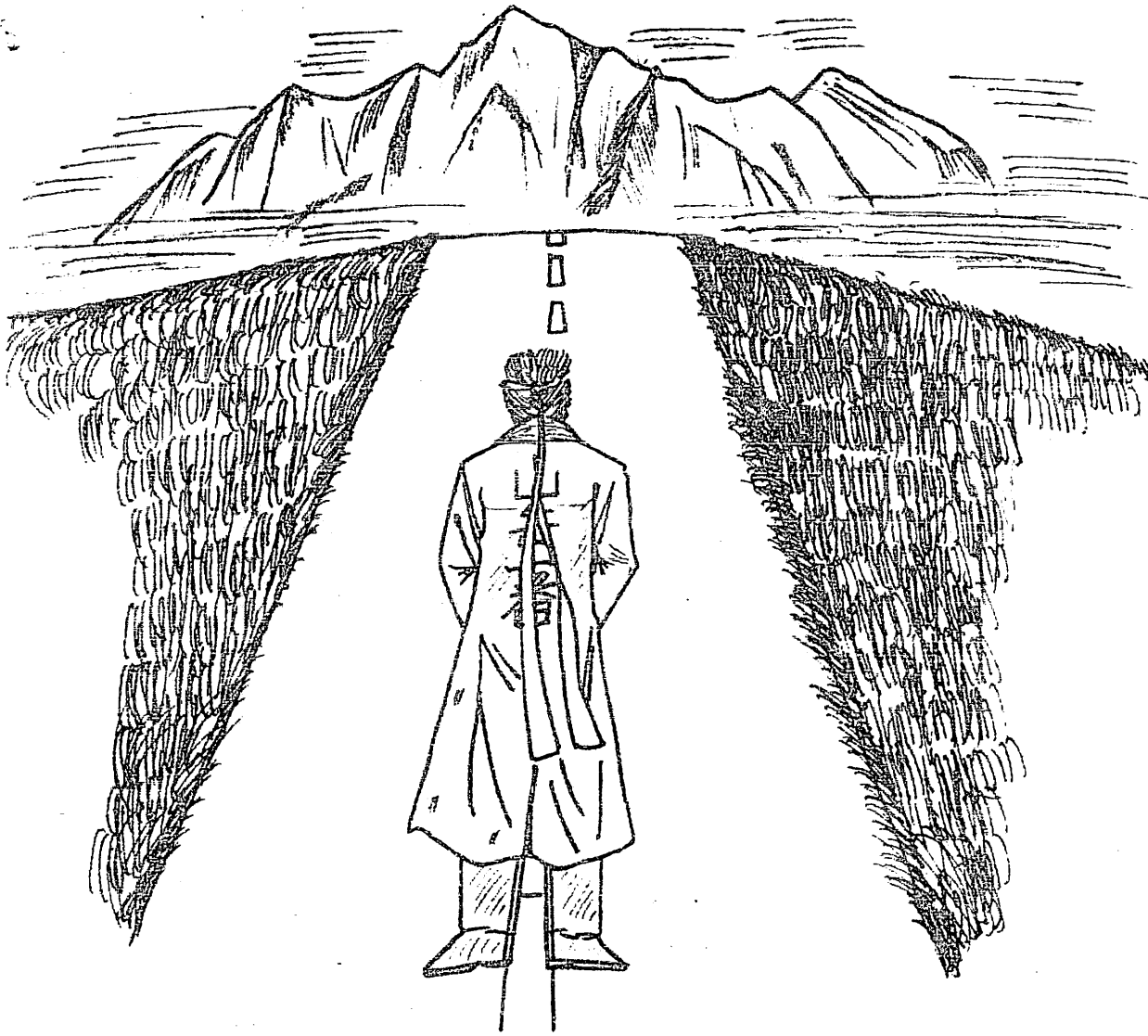


1987年

秋山行報告書



PURPLE MOUNTAIN OF ANGELS

信州大学山岳会





黄蓮谷右俣 9/29~9/31

La 飛田, 内田, 松井

9/29 7:50 神社発 ○  
 黒戸尾根  
 12:11 5合小屋 ○ )道が悪い  
 2:30 岩小屋 ○

9/30 6:35 合発 ○  
 10:15 奥4又ノ沢 ○  
 1:41 核心部EJKニヒ=FS ●  
 ヤ7とニヒ及程にEJK-70決定  
 5:30 七ノハ-7" ● 命に2

9/31 7:20 命発  
 8:30 黒戸尾根-船ル-ト  
 9:00 7ノハマ山頂  
 11:30 七ノハ沢

明星P6南壁 9/26~28

La 豊田, 九後, 松下

9/26 入山  
 27 左岩稜ル-ト  
 ① 7:10 取付  
 ↓ (7P)  
 13:30 大岩  
 14:00 終了  
 15:30 T.S

28 左7ニ=ル-ト  
 ◎ 6:50 取付  
 ↓ (7P)  
 13:05 大岩  
 13:35 終了 ↑

14:50 T.S

大岩 どうりに終了したの?  
 手付が良かったと思ふ。  
 石取れは初め (7P) にいじり  
 手付がすたは71=72, 73, 74  
 左岩稜帯の人工のLとかが

9/29 ~ 10/1

常急 - 燕岳  
 松園 服部 伊藤 小久保

9/29

三ノ又 9:45 ○  
 前常急 13:55 ↓  
 常急ピク 15:20  
 常急門屋T.S 16:50

9/30

T.S 薨 6:30 ○  
 大天北ピク 8:40 ↓  
 = 薨 9:45  
 燕山荘 11:35  
 燕岳 13:00  
 燕山荘 13:20 ●  
 = 薨 13:40 ↓  
 母房温泉 15:10

学生だけの山行だったのに  
 無事に山を降りれたことが満足  
 いく所だった。また下山後に  
 温泉に入れたのはいい事だが  
 着替えをもちいかないと、かえって  
 自分の持ち物をかき回す  
 おじけにや、てしまふ  
 3ヶ所

10/1 幕岩 大凹角ルート L 豊田 下平

11:47で入山。七倉のゲートを100km/hでアツクしたい誘惑に  
かられる。

12:40 ① 七倉

15:00 D沢の岩小屋

途中、猿にからかわれ、沢にはあてしなかった。

10/2

5:35 ① T.S

6:15 大凹角ルート取り付き

6:25 登攀開始

10:25 ① 終了

10P (25, 30, 40, 30, 35, 40, 40, 30, 40m) 大系どらり

11:00 ① 右稜下降

9P < S11 H人垂

12:30 ① T.S

13:00 下S尻

15:35 ① 七倉

大凹角内はぬれぬれであまり登持たない。山嶺ルートに入  
ることを方針とします。今度はせむS字をやりたい。

下平

明星山P6南壁 クリープ・スロープ

Member La 宇田 豊田

10月9日

夜 スリ=DT200RとウリウリXL250  
で入山 長壁台には変なおちかひの  
いびきと音。CMCの尻を触る  
出現する。と2枚変な夜。

10月10日

6:15 T.S発 ○

6:45 取付 ○

14P+2P 先行110m-CMC  
おちかひを暑く中央バト  
でアツク

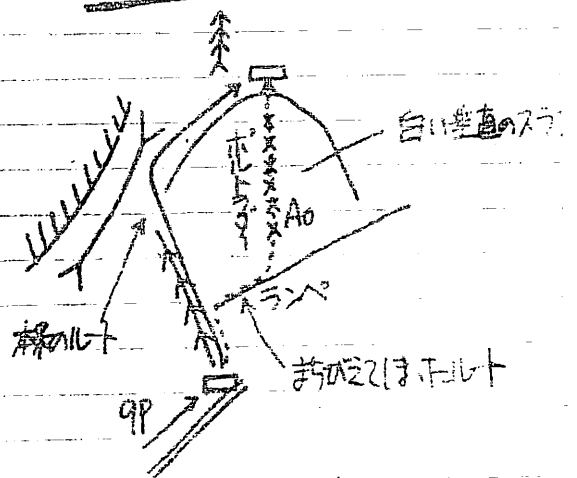
15:00 終了 ○

16:20 T.S ○

10月11日

下山した。

鷹ノ巣ハン



10P目 上部壁トラスの  
前のセ.A.

他は大系どうり。

・ おちかひのシルでおすめ☆☆☆ (若太郎談)

・ おちかひのシルは白い壁直シルは7m-2" 5.11以上 君たちのよう  
おすめいる。(宇田)

白馬 ~ ツガイヶ 10/10 ~ 10/11

L 九後 松下

10/10	9:30	猿倉
○	10:20	白馬尻
	12:35	カグラ平
	14:00	頂上宿舎

10/11	4:00	起床
①	6:05	出発
	6:15	白馬山荘
	6:45	白馬岳
	7:45	小蓮峯
	8:35	白馬大池
	11:00	ツガイヶ

今年の山行の中で最高と  
思われ、~~曇~~れた晴天のため  
めとて気持ちよく山  
登りかてきた。



10月11日 明星山 P6 南壁

△ 飛田 左岩稜ルート  
小林

取付 7:17 天気 ①

失神行 10:20

大岩 13:00

終点 13:30

展望台 2:45

上部で落石のため、ガイルを2本も切っ  
てしまいました。ATはワンピッチ延々とア  
ミのかけ換えのつづく地獄の外化儀ハンク  
でした。

(AT)

明星 P6 南壁 左フェースルート △ 下平 松岡

10/11 6:20 ① T.S

6:45 取付付き

10:10 ド、暗れ 終了

11P (15, 35, 35, 30, 5m down, 40x6) 大系どうり

登る間は気持ちよく、気分は最高。しかし大岩に近づ  
からは、沁るような暑さと、絶壁との戦いだった。

13:15 ② 大岩麓 20m ガイルをはずす。

13:45 下降開始

14:30 T.S

左フェースおきりにおき(3)ルート ルート内に左側カバの  
岩があり、中を見ると目玉がニつあっていたので驚いた。  
下平

# 甲斐駒

A7ランケ 赤蜘蛛 ~ 70スライン ~ スーパー7ランケ

×2(1) L. 高谷直弘 . 下田 奇也

1/1 10:00 伊ナ着  
16:00 八合目着

1/2 7:00 B.P着  
8:30 取付  
10:50 大テラス  
16:30 終了  
16:50 A7ランケの頭  
17:30 B.P着

1/3 F山

\* 70スラインではトライカムの7と6のスタックが有効。スーパー7ランケはフレンズ3番かたきん火事。サイルは11mと9mでOK。3セット、フレンズを待たせ行ったが、実力かあまらず。1.5セット（6mのほうか）軽くしていいはず

明日 P6 南壁 左岩稜 フランケルート L. 豊田. 下平

1/1 前日の大雨により河が増水し、1年生と共に取り付けず、決意のまま天場へ入場。豊田さんの左岩稜フランケへ行こうとの言葉に關志を断った。

8:30 ① TS

8:55 取付き

17mより上流の岩よりけん索し、3mほど河を渡す

9:00 ② 開始

1P目 15mで 豊田さんのスタックの崩壊で湯を指をけがす。同じとこまで登りけん索した。

10:10 ③ けん索終了

今度体積はうして帰る。E7.5.0.0.

10:30 ④ TS

左岩稜フランケは 自力で登らなければならないようにする。

下平

明星山 南壁左フェースルート

1 飛田 服部 伊藤

11/23 11:30 松本発 ○

16:00 TS 発 ○

11/24 5:50 起床 ○

6:35 TS 発 ○

6:50 取付着 ○

7:15 開始 ○

8:50 雨のため下降決定 (3P目) ●

9:10 下降開始 ●

10:40 取付着 ●

11:10 TS 着 ●

その後 昼食を食べて 松本へ。

## 小川山の一夜

その夜はめずらしく大学生パワーが週日  
平キャンプ場を支配していました。ウーテンのため  
他にはフォーター達のテントがホッソホッソと  
寂しげに立っているだけでした。もうすでに場はか  
なり盛り上がり、バニテンだけを食べたK大  
の学生がその体験を興奮しながら語っていた。  
その模様に聞き入る他の学生の目はあつぱく、興  
味しんたるものがありました。話はDRUGの方へと  
きりなく発展し、ついにY大の農学生が言惑に堪え  
ずバニテンだけを食べてしまいました。彼がそ  
の後ぶじトリップ出来たかは知るべきではありません。  
その後自分のテントに戻ったS大の梶氏は大麻密  
輸作戦を真剣に考えておりました。その思い沈んだ姿に  
はただならぬ熱意を感じさせるものがありました。  
二わかったです。

『ジャパンカップに出る。Tシャツと5千円もらったよ!』

下田 啓平

10月24日。小雨の降る寒い寒い不動沢で、第1回  
ジャパンカップ予戦が行われた。ルーツ、アラク  
とこの横の前傾壁の2本。ルーツは、ホールド限定  
のため S.IIa 前傾壁は、15メートルのフェース S.IIb  
こちらは on sight が条件である。自分の順番に  
来るまで ルートを見ることすら許されない。ルート  
を抜けた1手で落ちた。フェースは70パーセント  
3つのはして落ちた。ルーツでさらに1手もしくは  
フェースであと2手1本分上に行けば予戦を通  
過したと思われる。決勝は唐沢の滝の S.IIc の  
フェースだったそうよ。

この今のコンペでは、場数を踏んで"したたかさ  
と登り込んだ実力を備えてなければ"参加すべき  
ではないと思う。来年も再び私は挑戦したい。  
ホックもポックもカネゴンも、特別上手とは思えない  
それなのに成績がいいというのは何故か? 俺は  
知っている。しかし今はそれを教える時期ではない。

## 白馬〜ツガヤ・ハイキング

今回の山行は初めての一年生だけのパーティーによる  
山行であった。一年生だけでも楽に行けそうな  
白馬へ行くことになった。丸後帯とユメでハイ  
キングのノリでたろたろと登った。雪渓に  
は雪もなく、ジョギングで歩いている親子  
づれに会ったり、いいちゃんやあまちゃん  
と話をしたりもした。天気は最高に良くて  
思わぬ途中で昼寝をした。衝動にか  
かれてしまった。何だかよくわかんないけ  
れど、気楽で楽しい山行であった。

松下

C言語における愛

= FORTRANでは書けない =

MnC

```
#include <studio.h>
```

```
main()
```

```
{  仙木峠に出ると、甲斐駒は雪が積もったように  
    白がた。山頂を踏んでハ合目へ急いだ。  
    『いよいよクロスラインスノーパークだ』と、さう考えながら  
    月明かりの下で うんこする。明日もきっと晴れるだろう。  
    若小屋から1時間、ひっそり岩場が現れる。穂高や剣りの比  
    ではない。おもしろい、ヨリカクイ!! 赤蜘蛛に取り付く。割れ目用  
    のギヤで フォローは 20kgを背負うハメになる。大テラスまで  
    快適だった。リングで 誰かが アブミを落としかけたね。  
    クロスラインは ナント肩まで入る。フレンス No.6 も決まらない。  
    ニニエリードした 角谷はとこもエライ。しかし木子ザックを背負い  
    フォローした下田はもっとうまい。スノーパークは えんえんと  
    No.3がきく。悲しいかな 期待はずれの 2番手。パークが  
    無くなる。2からのムーブが絶悪だ。テションで休む。  
    雲とつながる。秋の空。白い花崗岩に紅葉が映える。  
    ものすごい高度感。足もとからザイルが 一直線に 角谷の  
    赤いカリビエールまで伸びている。ニニエリード?  
    エルキヤヒマン? 感動的な1コマだった。リードした下田  
    はエライけど、フォローした角谷のほうがもっとうまい。  
    その晩も 神々しいほどの月光の下で うんこした。  
    翌日、山頂の人混みをかき分け 甲斐駒の神様に 無事を  
    報告して 僕は帰った。今年最高のクンニングだった。  
}
```

# パンピング・ハイ

by ウリウリオ

1987 秋：城ヶ崎 中間報告！

城ヶ崎にきて2日目、まだ2本しか取付いていない。しかし最高だ。そのルートは、初日が「パンピングアイアンI」、そして今日が「パンピングアイアンII」。どちらも大きなルーフを持ち、その名の通りストレニエアス極まりない。グレードはIが5.11+、IIが5.12-。ほくにはカ以上のルートかも知れない。だが「絶対登れる！」。小川山でイレブンに眼覚めたほくの本当の力を知りたい。いろんな思いが、あのバカでかいルーフに向かさせた。Iのルート。ほくは気楽に取付く。フラッシングなんか考えなかったし、それに、あちらすぐバワフルな角谷さんに交替すれば「プロテクションを伸ばしてくれるだろう。とにかく最高だ。パンパつらくローダウンを数回重ねながらも、全然ビビらない。それにトライすればするほどグングンとハイになって行く。最後となったトライのとき、ほくはその頂点にいた。体が水平になるルーフのがバにぶらさがりながら、やけに余裕があった。チョークアップしながら下を見る。大岩さんをはじめ数々のトップクライマーの視線がほくに集中していた。それはまるで今まさに、岩雪のグラセピアに、ほくが登場してる様な気分だった。そしてなお、ほくはクールだった、核心のルーフ越えもクレーバーにこなした。その後プロテクションを2本のはして... あとは言いたくない。とにかく爽快の頂点を味わった。II、トップローフ。なんといってもトウエルフ。高さは20mもないが、その3/3はものすごいバンク。残りもがぶらしている。数回のトライで核心にぶつかった。核心の終りのでかいがバに何度もランジする。しかし手をかけるが、ものすごいバンクに足をはかされ、その反動でローフにぶらさがらずをえないのだ。そしてあの本家ウリウリの保科まさのり氏の見守る中、ラストトライ。よーし！快調にダイナミックにバンクをつきつづむ、そしてかバを前に右手で「飛ぶ」か左手で「飛ぶ」か一瞬迷った。だが考えてるヒマはない。両手とも指先だけでバンクにぶらさがってるのだから、「左手だ！」飛ぶ！タッチしかし、はかされた... 保科さんは「あそこは右手なら大丈夫」とアドバイスしてくれた。城ヶ崎もあと2日。ほくは果てしなくハイな気分にいる。

ととも さいい ……

秋山山行報告書

発行 松本市旭3-1-1

印刷 長野市

信州大学山岳会